

2022年

1月号

ふれあいネットワーク



やめ社協だより

発行●社会福祉法人八女市社会福祉協議会(八女市社会福祉会館内) 〒834-0031 八女市本町599番地



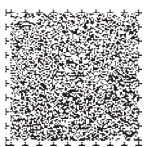
新年
明けまして
おめでとうございます



第六回八女市合同金婚式を開催しました



で仲良く過ごされ
る日々が長く続け
られることを祈念
いたします。



これからも、ご夫婦ともに健康
で苦楽を共にされた50年の道のり
を思い起こし、晴れの日の喜びを
わかちあわれました。

参加者の皆様は、夫婦二人三脚
の画期を軸に発展した時代でもあ
りました。
時代はまさに高度経済成長期の真つ
ただ中で、日本の経済が技術革新
の番組、カラー化を実施する等、
53組のご夫婦がご結婚されたの
は昭和46年。NHK総合テレビが

全番組、カラー化を実施する等、
真撮影とお祝い弁当の配布を行
いました。
今年度も、新型コロナウイルス
感染症拡大防止のため、祝宴は実
施せず、会場を2カ所(矢部川城・
グリーンピア八女)に分散し、写
真撮影とお祝い弁当の配布を行
いました。
11月22日(いい夫婦の日)に結
婚50周年を祝う第六回八女市合同
金婚式を開催し、53組のご夫婦に
参加していただきました。



「福祉でまちづくりの実現に向けて」

社会福祉法人 八女市社会福祉協議会 会長 古賀 秀木

新年あけましておめでとございます。謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。旧年中は、市民の皆様をはじめ福祉関係団体等、多くの皆様から本会の事業に対して特段のご支援、ご協力を賜りましたことを心から厚くお礼申し上げます。

近年、本市においても、地域における人と人とのつながりが希薄化し、経済的困窮等を背景に、制度の狭間で支援を必要としている人たちの存在が認識され、「地域共生社会の実現をめざす総合的な支援策」の展開が求められています。

さて、福岡県においては4回目の緊急事態宣言が発令される等、いまだに新型コロナウイルス感染症拡大の影響により解雇や離職、休職等による生活福祉資金緊急小口資金等特別貸付の相談件数及び申込み件数が急増し、現在も総力をあげて申請手続きを行っています。そのようななかで、昨年から新たに八女市から、①八女市予約型乗り合いタクシー「ふる里タクシー」運行事業 ②子どもの居場所づくり活動基盤整備事業 ③中核機関（成年後見制度）運営事業 ④ごみ出しサポート事業の受託に加え、社協独自事業として、⑤生活支援サービス「お助けサポート事業」を全市的に開始しました。

一方で、8月12日からの「令和3年8月豪雨災害」では、立花町山下地区の床上浸水被害者宅において迅速な被災地支援活動を行いました。

権利擁護活動については、居住支援法人活動の拡充により、生活困窮者等に対する入居前から退去までの具体的な相談対応を行うなかで、日常生活自立支援事

業や成年後見制度による法人後見支援事業、福祉資金貸付事業をはじめ、生活支援サービス「お助けサポート事業」を活用する等、部署間を超えた横断的な支援強化につなげました。あわせて、権利擁護活動において把握した8050(60)問題やひとり親世帯が抱える不登校問題、就労できずに深刻な貧困に陥っている世帯、特に支援ニーズの高い子どもの見守り支援につなげる等、包括的な支援体制の整備を図りました。「互助」や「共助」の層を厚くする取り組みについては、「コロナ禍のなか、生活支援コーディネーター、相談支援包括化推進員(まるごとサポーター)及びボランティアコーディネーターの活動を拡充しながら、地域課題の把握をはじめ、地域資源とのマッチング(需給調整)を行い、買い物支援や電球交換、布団乾燥等の生活支援サービスを提供しました。

本年は「福祉でまちづくり」の実現のために、八女市と一体となって「第3次八女市地域福祉計画・八女市地域福祉活動計画」の策定を行うとともに、次年度からの重層的支援体制整備事業への完全実施に向け、①断らない相談支援 ②社会とのつながりや参加の支援 ③地域づくりに向けた支援を一体的に実施する更なる基盤づくりと、課題を抱える住民に対する気づきと相談支援へ早期につなげる、「地域の福祉力」を高めていく所存であります。

結びに、本年におきましても昨年に引き続き、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様への「健勝」多幸をお祈りし、年頭のご挨拶といたします。

社会福祉法人の地域活動報告

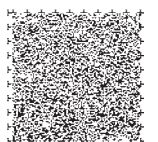


社会福祉法人の連携による社会貢献活動を行いました

八女市社会福祉法人連絡会ツインレスキュー部会による「ミ屋敷清掃(社会貢献活動)活動を実施しました。

当日は、八女市内の3法人(陽だまりの里・八女の里・八女市社協)から5名参加して、不要物の片付けや分別等の清掃作業を行いました。作業後には「片付けしていただいても助かりました。」と感謝の言葉をいただきました。

これからも、様々な生活問題や地域課題の解決を図るために、地域との連携を図りながら、支援活動を展開していきます。





福島小学校福祉出前講座を開催

10月26日(火)、28日(木)、11月2日(火)、福島小学校3年生を対象に福祉出前講座を開催しました。

「聴覚障がい者との交流」では、八女聴覚しょうがい者協会と八女市手話専任通訳者の協力のもと、日常生活上の課題や手話について学びました。

児童の皆さんは、手話での「コミュニケーション」に目を輝かせ、当事者との交流では当事者の声に興味深そうに耳を傾け、自分なりに表現を考え、自分の言葉を一生懸命伝えていました。

「車いす体験」では、車いすの取り扱いについて学習した後、校内に設定したコースを実際に走行しました。初めて乗る車いすと慣れない介助に戸惑いながらも、真剣に取り組んでいました。

授業を終えた児童からは、「一人では走行できない場所がたくさんあることに気づいた。助けが必要な場合は自分から声掛けして、手助けしていききたい。」等の感想を述べられました。

普段の生活では気づかないことへの気づきや思いやりの大切さ、さらには障がい者の理解を深める大切な時間となりました。



デジタルシニア講座 『初めてのスマホ教室』を開催

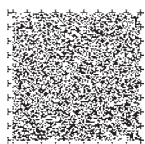
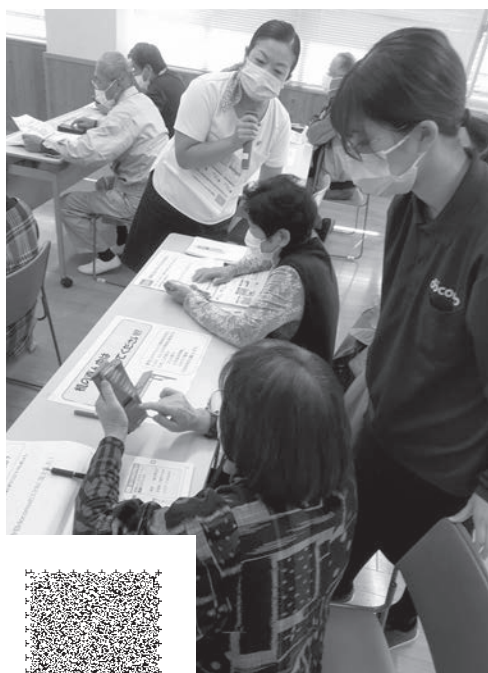
八女市社会福祉協議会黒木支所では、行政区長 民生委員児童委員、主任児童委員の方を対象に、スマートフォンを活用することを目的に『初めてのスマホ教室』（全4回）を開催しました。

講座の開催にあたり、事前に黒木町の方にスマートフォンの活用について伺いしたところ、「孫とテレビ電話がしたい。」「撮影した写真を送りたい。」「インターネットで買い物をしたい。」「ナビゲーション機能を使って行きたい場所へ行きたい。」「SNSで情報を発信したい。」「といった、活用に前向きな声をたくさん伺いました。

このような声に応えるために開催した今回の講座。参加者の皆さんは、文字入力等の基本動作からインターネットやアプリの活用方法を学ばれ、とても熱心に受講されていました。

受講後は「スマホの取り扱いに少し自信が持てるようになりました。」「自宅でもいろいろと挑戦しています。」「やりたいアプリを使えるようになりました。」といった声もいただきました。

スマートフォンの活用によって、日常生活がより快適になり、地域活動の活性化につながることが期待される講座でした。



福祉講座開催報告(生活支援ボランティア養成講座)

お助けサポート事業 「生活支援ボランティア」養成講座を開催

八女市社会福祉協議会では、現在ひとりの暮らし高齢者や障がい者等を対象に生活支援ボランティアを派遣し、日常生活のちょっとした困りごとへのお手伝いを行っています。

今回、「電球交換をしたいけど、自分ではできない」「買い物を手伝ってほしい」「布団を乾燥したいけど、1人ではできない」といった困りごとをサポートする「生活支援ボランティア養成講座」を開催しました。

講座では、生活支援ボランティアに関する事業紹介や実際にボランティア活動をされている方との意見交換会を行いました。

新しく生活支援ボランティアとして登録していただいた皆さまには、左記のサービス内容のなから、自分に合った活動をしていただきます。



日常生活自立支援事業 「生活支援員」養成講座を開催

八女市社会福祉協議会では、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理等に不安がある方のお手伝いをしていただく「生活支援員」の養成講座を開催しました。

講座では、認知症や障がいについて、それぞれの特性を知り、その接し方や支援の方法及び心構えについて、実際の現場で活躍されている講師から話を伺いました。

受講者からは、「生活者としての視点、自己決定の尊重等の言葉は聞いたことはあるが、具体的にわかりやすかった。」「お金の管理に困ったことがあれば、この事業を利用することができるんですね。」といった感想が寄せられました。

お助けサポート事業を開設しました!!

- 日常サービス→ゴミ出し支援(資源ゴミ)、電球交換、布団乾燥、郵便物確認等
- 家事サービス→生活必需品の買い物、ランドリー(経費は自費負担)等



まずは、お気軽にご相談ください。☎23-0294



- 日常生活自立支援事業とは、認知症や知的障がい、精神障がい等の理由により、自分一人で契約等の判断をすることが不安な方やお金の管理に困っている方に対し、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理のお手伝いをする事業です。



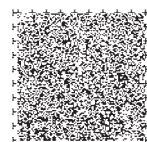
民生委員児童委員活動報告

福祉施設視察 研修を実施

11月11日(木)、福島校区民生委員児童委員の皆さんが授産所麻生園(星野村)を視察されました。

最初に星野総合保健福祉センター「そよかぜ」にて、担当職員より麻生園の事業内容及び支援内容について説明がありました。その後、作業場に移動し実際の作業を見学されました。

委員さんからは、「いろんな仕事をされていますね。」「こんなに細かな作業をされていることを初めて知りました。」「星野にこんな印刷所があるんですね。」といった声が聞かれました。



●矢部地区生活支援コーデイネーター(地域支えあい推進員)報告



地域の高齢者と子どもたちとのふれあい交流事業
ふれあい田んぼ「収穫祭」(共同募金配分金事業)

八女市社会福祉協議会矢部支所では、10月12日(火)、地元農家の協力により、矢部保育園「ゆり組」5名、矢部清流学園1・2年生13名、地元老人クラブ9名、特別養護老人ホームゆいのもり入所者と地域の方々等、総勢48名で稲刈りを行いました。

子どもたちは、鎌を使用して一束ずつ稲を刈り、刈った稲を一定の大きさに束ね、掛け干し用の竿(たたり)に掛けたりと一生懸命作業していました。老人クラブや関係者の皆さんは、子どもたちに昔ながらの稲刈りを伝承したい気持ちで熱心に指導されました。

稲刈りしたお米は、矢部保育園・矢部清流学園・ゆいのもりへ届けられ、給食の食材として活用していただきました。



矢部地区「トピックス」ふれあい朝市会

毎週金曜日、8時～13時までJA矢部支店の一角にて、矢部村で採れる季節の野菜や漬物・巻き寿司・おはぎ等を販売している「ふれあい朝市会」が開催され賑わっています。

この「ふれあい朝市会」は、平成12年にJAより「野菜や加工品を持ち寄って販売しないか?」と声かけしてもらったのがきっかけのこと。昨年の7月で20年目を迎え、当初は20名程いたメンバーも現在は5名(平均年齢77歳)になり、皆さんで協力しながら販売されています。

メンバーからは、「野菜作りや販売が生きがいや励みになっている。朝市会の際は、メンバー同士、ストレス発散や時には相談に乗ってもらい心の寄り処にもなっている。」と笑顔で話されました。



▲朝市会では皆さんの笑顔が絶えません



なかま 中間地区買い物支援について

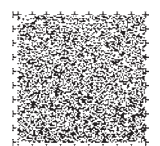
サロン訪問時に中間地区の1人暮らし男性より「移動販売車が来ると助かる。」「商品を見て買い物がしたい。」「との意見ができました。

ゆいのもりには水曜・土曜の週2回「移動販売とくし丸」が販売に来ている事や施設の一角に臨時店舗もあることから、移動販売場所の変更を相談したところ「販売場所数を増やすことはできないが、ゆいのもりの土曜を中間地区に変更することは可能。」との回答でしたので、近隣の店や地元行政区長、民生委員児童委員さんにも相談し、中間地区全6軒へチラシ配布を行いました。

矢部地区の高齢化率は、52・7%(令和3年11月30日現在)となっており、今後も買い物支援への需要は高まってくると思われます。少しでもニーズに応じた支援ができるよう、地域の方々各関係機関と一緒に協働し解決へ繋げて行きたいと思えます。



▲商品を袋いっぱい購入されました





料理教室のなかで調理支援やこども宅食を始めました

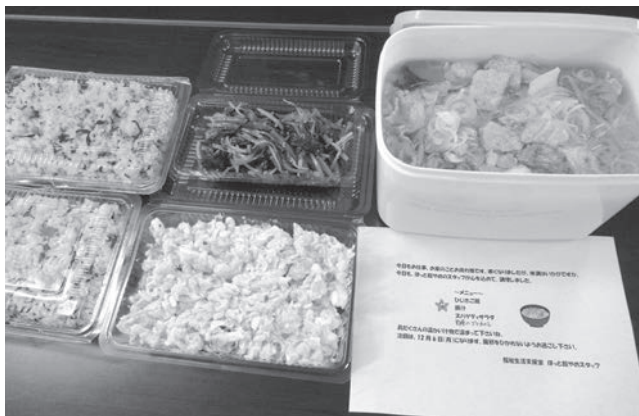
ほっと館やめでは、フリースペースを活用して料理教室を行っています。最近では、利用者さんからピザトーストの作り方を聞かれ、レシピをお渡しすると材料を買って来館されましたので、「ピザトーストの作り方教室」を実施しました。利用者からは「一つ料理を作れるようになったので嬉しかった。」と、何枚も作って持ち帰られました。



▲「ピザトーストの作り方教室」の様子

新たに、フードバンクの相談等で見えてきた食の支援を必要とされる子育て世帯に対して「こども宅食支援」も始めました。

農産物直売所「よらん野」(JAふくおか八女)や農家の方からご寄附いただいた野菜類や米等を活用して弁当をつくり、来館時に受け渡したり、自宅訪問して受け渡しています。



▲作成した弁当(ひじきご飯、豚汁、野菜の胡麻和え、サラダ)

●こども宅食利用者の声



- 「おいしい弁当をいただけてとても嬉しいです」
- 「温かい弁当をいただけて子ども達も喜んでます」
- 「バランスの取れたメニューで有難いです」

1～2月の行事予定	精神対話士による無料相談会(※毎月第2土曜日・第4木曜日)
<ul style="list-style-type: none"> ●2月 8日(火) お料理教室 10:30～ (※3密対策を十分にとります。) ●2月 12日(土) 笑福クラブ親の会(不登校 13:30～ ・ひきこもり親の会)定例会 	<ul style="list-style-type: none"> ●面談日: 1月27日(木)・2月12日(土)・2月24日(木) 13:30～15:30 (※事前予約制となっております。下記までお電話ください。) ※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては中止になる可能性があります。



ほっと館やめ(上陽)より～パンジーを植えました～

11月は作業体験として、上陽地区環境啓発美化運動の一環として提供いただいた、パンジー苗を植えました。利用者さんと一緒にプランターの下に石を敷いて土を入れ、色の組み合わせを考えながら一苗ずつ丁寧に植えていきました。

以前にも植えた経験があり、その時を思い出しながら作業され、手際よく綺麗に植え付けができました。

できあがったパンジーのプランターは、ほっと館やめ(上陽)の入り口を明るく彩り、訪れる方や近くを散歩される方に楽しんでいただきました。



(※右記のQRコードよりほっと館やめホームページをご覧になれます。)



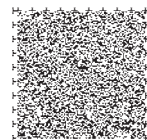
お問い合わせ

ほっと館やめ

☎23-7777 携帯090-6893-5701
メールアドレス: hottokan@road.ocn.ne.jp

ほっと館やめ(上陽)

☎24-9820 携帯090-7457-4053
メールアドレス: hottokanjyoyo@gaea.ocn.ne.jp



※ほっと館やめでは、✉メールでの相談も受付けています。お気軽にご活用ください。



福岡県共同募金会から 赤い羽根キャッチフレーズの 表彰式を行いました

赤い羽根キャッチフレーズは、共同募金を親しみのあるものとして感じ、共同募金が様々な福祉活動を支えている募金であることを知っていただくため、毎年福岡県共同募金会の主催により、福岡県内の小・中・高等学校に募集案内を行っています。

今年度、多数の作品を応募いただいた八女市立上妻小学校に「特別賞」が授与されました。

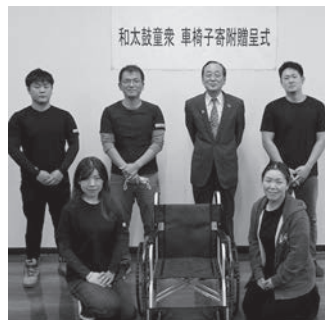


ありがとうございます 車いすの寄附をいただきました

10月29日(金)、和太鼓「童衆」様から車いすの寄附(4回目)をいただきました。この車いすは貸出しや車いす体験学習等に活用させていただきます。ありがとうございます。

社会福祉協議会では、車いすの貸出しを行っています。貸出し料は無料です。ただし、貸出しには数に限りがあります。

詳しくは八女市社会福祉協議会本所・各支所までお問い合わせください。



土橋老人クラブ福寿会で 健康教室を開催

土橋老人クラブ福寿会において、緊急事態措置の解除後、令和3年10月5日(火)に健康教室が開催されました。当日は17名の参加があり、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、講師の榊リセスから健康体操や介護予防についての講話を受け、笑いも飛び交いながら楽しい時間を過ごされました。

参加者の中から「機会があれば、またこのような教室をして欲しい。」との声があがっていました。



フレイル(虚弱)予防啓発イベント を開催します

参加費無料

「フレイル」という言葉を聞いたことがありますか？フレイルとは「虚弱」を意味し、心身の活動が低下し、要介護状態となる一歩手前の状態を言います。外出の自粛が続き身体を動かさなくなったり、話さなくなったりする生活が続くと、フレイルが進行する恐れがあります。イベントに参加して「フレイルチェック」をしてみませんか？今回は簡単な心身の検査や測定、ミニ講話を行います。当日参加された方にはフレイルに関連したサンプルも配布予定です。

●日時 令和4年2月5日(土) 午前10時から午後4時まで(※1人1時間程度)

☆新型コロナウイルス感染症対策のため、受付時間を分散します。下記により申込みください。

●会場 ゆめタウン八女

●対象者 おおむね65歳以上の方

●お問い合わせ・申込み

八女市役所介護長寿課地域包括支援係
(☎24-9466)

詳細は八女市ホームページをご覧ください。



地域献血のお知らせ

皆さまのあたたかいご協力をお願いします

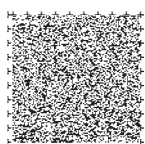
〔献血の基準(400ml献血の場合)〕

- 年齢：男性17～69歳 女性18～69歳
※65歳以上の献血については、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。
- 体重：男女とも50kg以上
- 新型コロナウイルスのRNAワクチン(ファイザー社・武田/モデルナ社製)を接種した人は1回目、2回目いずれも接種後48時間を経過していれば献血にご協力いただけます。

●岡山地区：2月24日(木)

会場：八女市室岡公民館
10時00分～11時30分/12時30分～15時30分

●お問い合わせ：八女市献血推進協議会
(八女市社会福祉協議会内)☎23-0294



リサイクル適性(A)

環境に配慮した植物性大豆インキを使用しています。

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

八女市社会福祉協議会 福祉総合相談センター

お気軽にご相談ください(窓口でのご相談もできます)

本所(八女市社会福祉会館内)	☎23-0294 携帯090-8661-3684
上陽支所(八女市地域福祉センター内)	☎54-3629
黒木支所(地域交流センターふじの里内)	☎42-2131
立花支所(立花総合保健福祉センターかがやき内)	☎37-0036
矢部支所(総合福祉団地ゆいのもり内)	☎47-3123
星野支所(星野総合保健福祉センターそよかぜ内)	☎52-3165

困っているけど、どこに相談していいかわからない。そんな時は、福祉総合相談センターまでご連絡ください。

防災ラジオは情報の命綱

八女市の防災等緊急情報はFM八女【80.1MHz】を通じて放送します。



相談
無料

1月
2月

各種相談のお知らせ

秘密
厳守

Table with 4 columns: 社協本所, 立花支所, 黒木支所, 上陽支所. Rows include dates for '心配ごと相談', '無料法律相談', and '司法書士相談'.

相談窓口については、ご都合のよい会場へお越しください。

- List of names and addresses for '社協本所受付分' (e.g., 松尾 忠時様, 松尾 順子様).

香典返し寄附

令和3年10月16日〜12月10日届

ご寄附
ありがとうございます
ございました

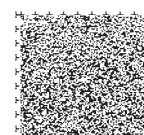


- Continuation of names and addresses for '社協本所受付分' (e.g., 鎌田 キヨメ様, 谷川 スイ子様).

- List of names and addresses for '物品寄附' (e.g., 株式会社 素酸ナトリウム).

- List of names and addresses for '一般寄附' (e.g., 上北本分 城後ナオ子).

- List of names and addresses for '矢部支所受付分' (e.g., 虎伏木 堀江 恭子).



本会へのご寄附は、確定申告をされることにより、税額控除が受けられます。

寄附金は、地域のサロンやボランティア活動等、地域の身近なところで行われる福祉活動に大切にさせていただきます。